



並木中等story

令和3年9月9日号

〇〇ちゃんが言ってたよ！

「〇〇ちゃんが言ってたよ。」皆さんは、この言葉には危険がはらんでいることを知っていますか。言っていた内容が喜ばしいことの場合は問題になることは少ないです。しかし、内容が悪口であったり、いじめの要素がある場合は最悪です。まず、そのことを聞いた本人はショックです。直接に言われたのではないということは、その悪口は複数の人に広まっていると考えると二重のショックになります。言われた人は“直接話してくれればよかったのに・・・”と思ったことでしょう。中には自分が悪く思っていることを他人が言っていることにして伝える人もいます。自分の責任を回避しようとしているのかもしれませんが、これは無責任です。



ここでアドバイスです。この告げ口、悪口はいじめのきっかけになりやすいです。「〇〇ちゃんが言ってたよ。」と悪口を広めた人もいじめに荷担したことになります。自分が言われて嫌なことは、他の人に広めないこと、これは、大切なことです。また、悪口を広める人は、悪口を広められてもいい人と思われたり、“この人は“いろいろな人の悪口も広める要注意人物”と思われたりすることがあることを覚えておいてください。

《祝！吹奏楽部 東関東大会出場》

夏休み中に開催された全国高等学校吹奏楽コンクール茨城県大会で本校吹奏楽部が金賞を受賞、上位大会である東関東大会出場を決めました。

おめでとうございます。

